

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院における高リスク B 細胞リンパ腫に対する DA-EPOCH-R 療法の有効性および安全性についての検討
	研究目的	B 細胞リンパ腫患者さんの多くは R-CHOP 療法により治ることが期待できますが、一部の高リスク（治療が効きづらい）リンパ腫の患者さんでは R-CHOP 療法では不十分です。DA-EPOCH-R 療法は R-CHOP 療法にエトポシド 1 剤を加え、さらに抗がん剤投与を複数日に分け 24 時間ゆっくり投与し、さらに各患者さんの副作用発現状況に応じて用量を調整することで安全に治療効果が高まることを狙ったものです。ただし、高齢の方では用量が上げづらく高齢の方を含めたすべての高リスク患者さんにこの治療が有効かつ安全であるかについては議論の余地があります。この研究では、当院での高リスク B 細胞リンパ腫に対する DA-EPOCH-R 療法の有効性および安全性を検討することを目的とします。
	研究対象者	2019 年 11 月から 2022 年 12 月までに当院で DA-EPOCH-R 療法を受けた悪性リンパ腫の患者さん
	研究期間	西暦 2023 年 2 月 13 日～西暦 2025 年 4 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	血液・腫瘍内科 廣瀬奈津季
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 廣瀬 奈津季